

## 予算委員会・教育民生分科会長報告

令和2年6月23日（火）

予算委員会から、教育民生分科会に分担されました議案3件につきまして、6月17日に分科会を開催し、審査を行いましたので、ご報告申し上げます。

**承認第9号「専決処分の報告について（令和元年度松江市一般会計補正予算（第7号）」**中の質疑で主なものは、

ふるさと指定寄附金27万円の内訳についての質疑に対し、執行部より、公民館事業に20万円が1口、図書館事業に7万円が1口の寄附をいただいているとの答弁がありました。

次に、承認第17号「専決処分の報告について（令和2年度松江市一般会計補正予算（第1号）」中及び、承認第18号「専決処分の報告について（令和2年度松江市一般会計補正予算（第2号）」中は、一括議題とし、審査を行いました。

質疑で主なものは、新型コロナウイルス感染防止対策強化のため、市内小中学校、義務教育学校における健康診断の分割実施の方法についての質疑に対し、執行部より、就学時健康診断については、年間20回を予定していたが、31回に変更し、1回の健康診断で70人の受診を目途に実施する予定としている。定期健康診断については、例年であれば5月、6月からスタートしているが、学校医に負担がかからないように人数制限などの工夫をし、9月以降に実施する予定としている。

次に、検診に必要な高圧蒸気滅菌機の配置についての質疑に対し、執行部より、高圧蒸気滅菌機については、中学校区を基本として、今年度は10台の配置を予定している。また、女子高を含め現在4校で乾熱滅菌機を使用しているが、引き続き使っていく予定としている。高圧蒸気滅菌機が未設置の学校については、来年度以降、配置を検討していきたいと考えている。

次に、ICT活用教育推進事業については、国の緊急経済対策による補正予算に呼応し、前倒しをして、今年度中にタブレットの整備を進めるということだが、見通しはどうかとの質疑に対し、執行部より、現在LAN工事を進めているところであり、計画通りに進んでいる状況である。タブレット端末については、予定通り今年度末までに整備することは可能であると認識している。

次に、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う臨時休校による学校の授業時数の回復についての質疑に対し、執行部より、今回の休校により、1学期で23日分の授業日が不足したところである。これに対し、夏休みを短縮して、給食を伴う授業日を7月20日から7月31日までの8日間を設定しており、各校で工夫をして授業時数の回復に努めている。中学3年生については、年間1,015時間の予定授業時数であるが、学校行事等を授業に振り替えるなどの工夫を行い、年内に回復できるというような報告を受けており、授業時数については特に問題はないと認識している。

次に、生活福祉資金の貸し付け状況についての質疑に対し、執行部より、6月15日の段階で緊急小口貸付が626件、総合支援貸付が107件で計733件を島根県社会福祉協議会へ進達している。また、住宅確保給付金の申請件数は現在95件で、合わせて828件が生活支援給付金の対象となり、その内557件について、生活支援給付金の振り込みが完了している等の質疑に対する答弁がありました。

以上で、教育民生分科会の報告を終わります。